

国指定文化財

とべしょうじょうだんそう
砥部衝上断層 (天然記念物)

(指定日) 昭和 13 年 5 月 30 日 国指定

(所在地) 岩谷口・大南

(所有者) 国

記念物

衝上断層は、数千万年前の地殻運動によってできた日本列島中央構造線上の逆断層で、地質学上貴重な資料です。

断層線は、砥部川の両岸に見ることができ、約 7000 万年前に堆積してできたといわれる北側の和泉砂岩層群が、南側の約 4000 万年前に堆積してできたといわれる久万層群の上に乗っています。この断層の上を、1500 万年前の石鎚層群がおおっていることから、断層の年代は、明神層と石鎚層群の間にあり、およそ 1200 万年前頃ともいわれています。

河岸の久万層群をよく見ると、東西に白い線が入り、割れ目に方解石等が入り込んでいるのが分かります。さらによく見ると、割れ口は鋭く、刃物で切ったようであり、しかも 5～10mm ずれています。このことは断層の起こった地殻の変動の力を、改めて教えてくれます。

この断層の上流は、衝上断層公園として整備され、訪れる人々のやすらぎ、憩いの場となっています。

